

# Dell 43 4K USB-C モニタ Dell Display Manager ユーザーガイド

モデル番号: U4320Q  
規制モデル: U4320Qt





注意：メモは、ディスプレイをうまく使いこなすために役立つ重要な情報を示します。

**Copyright © 2019 Dell Inc. またはその子会社。無断複写・転載を禁じます。** Dell、EMC、および、他の商標は、Dell Inc. またはその子会社の商標です。その他の商標は、それぞれの所有者の商標です。

2019年 – 12月

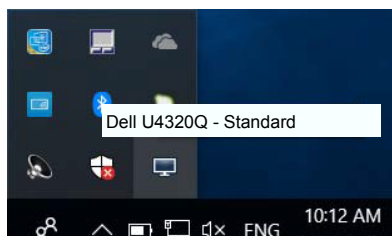
版数：A00

# 目次

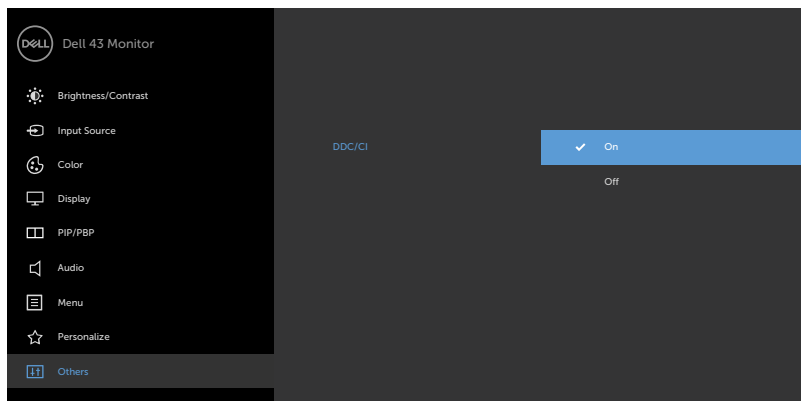
概要.....	4
クイック設定のダイアログを使う.....	5
基本的なディスプレイ機能の設定.....	6
プリセットモードをアプリケーションに割り当てる.....	8
Easy ArrangeでWindowsを整理する.....	9
複数ビデオ入力の管理方法.....	11
省エネ機能を適用する.....	14
その他のショートカットキー.....	15
アプリケーション位置の復元.....	16
DDMをアクティブウィンドウに取り付ける (Window 10のみ) ....	18
トラブルシューティング.....	19

# 概要

Dell Display Managerは、モニタまたはモニタグループの管理に使用されるWindowsアプリケーションです。表示されるイメージの手動調整、自動設定の割り当て、エネルギー管理、ウィンドウ整理、イメージ回転、およびDellの上位モデルのその他の機能が可能です。インストールすると、Dell display manager はコンピューターが起動するたびに実行され、そのアイコンが通知トレイに配置されます。通知トレイのアイコンにマウスのポインターを重ねると、コンピューターに接続されているディスプレイに関する情報が表示されます。

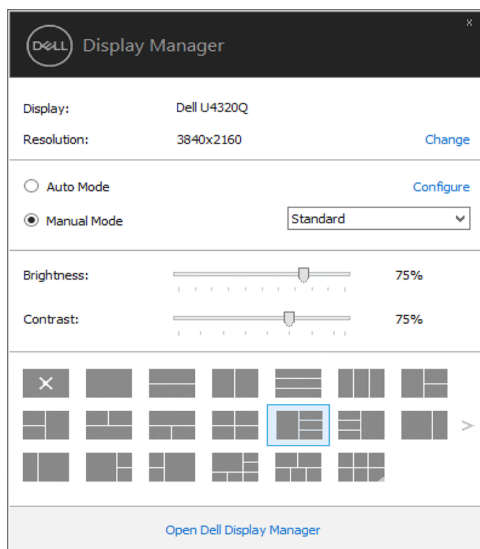


Dell Display Manager は、ご利用のディスプレイと通信するために DDC/CI チャンネルの使用を必要とします。以下のように、メニューで DDC/CI が有効になっていることを確認してください。



# クイック設定のダイアログを使う

Dell Display Manager の通知トレイ アイコンをクリックすると、クイック設定のダイアログが開きます。システムに複数のサポートされる Dell モデルが接続されている場合は、用意されたメニューを使用するとターゲットのモニタが選択されます。クイック設定のダイアログボックスでは、モニタの輝度やコントラストの調整を行ったり、プリセットモードを手作業でプリセットモードを選択したり、アクティブになっているアプリケーションに合わせてプリセットモードを自動選択することが可能です。



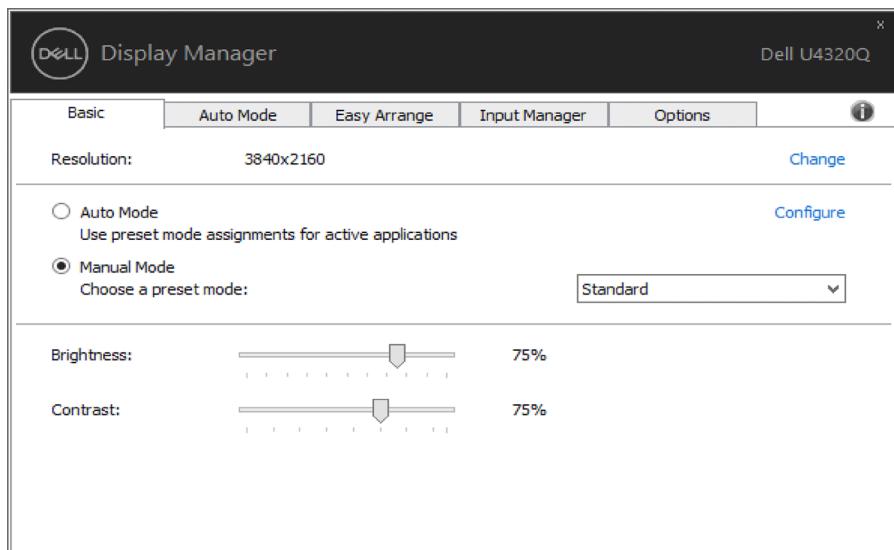
クイック設定のダイアログボックスからは、Dell Display Manager の高度なユーザーインターフェイスにもアクセスできます。ここからは、基本的な機能を調整したり、自動モードを設定したり、その他の機能にアクセスしたりすることが可能です。


## 注釈:

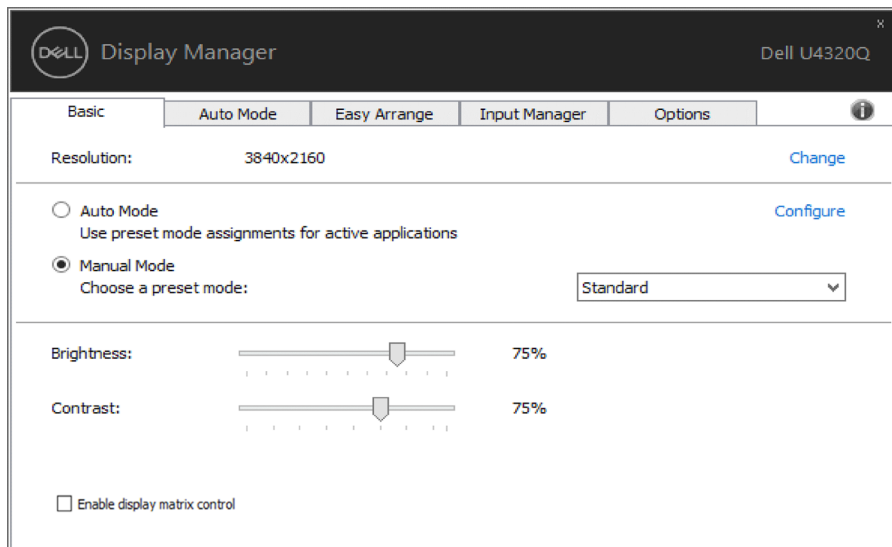
機能	役割	説明
クイックDDM アクセス	DDM UIを呼び出すためのクイックキー	<ul style="list-style-type: none"><li>Ctrl+Shift+D</li><li>Page Up/Page Downキーを使用するか、「&gt;」をクリックして、すべてのEasy Arrangeレイアウトの中で切り替えます。</li></ul>
	複数のモニター設定で個々のモニターを操作	<ul style="list-style-type: none"><li>ドロップダウンボックスからモニターを選択すると、選択したモニターにDellのロゴが表示されます。</li><li>モニターのセルフテスト機能チェックを実行します。</li><li>DDM UIを操作するモニターのところに移動します。</li><li>Ctrl+Shift+Dを押して、マウスポインターの下にあるminiUIを表示します。</li></ul>

## 基本的なディスプレイ機能の設定

一部のモニタのプリセットモードは、[基本] タブのメニューを使って手動で適用できます。または、自動モードを有効にする方法もあります。自動モードを選択すると、特定のアプリケーションをアクティベートすると、自動的にあらかじめ選択しておいたプリセットモードが適用されます。選択されたプリセットモードを示すメッセージが一時的に画面に表示されます。一部のモニタの輝度とコントラストも [基本] タブから直接調整できます。




 注:複数台の Dell モニタが接続されている場合、輝度、コントラスト、カラープリセット制御をすべてのモニタに適用するには、「Enable display matrix control」を選択します。

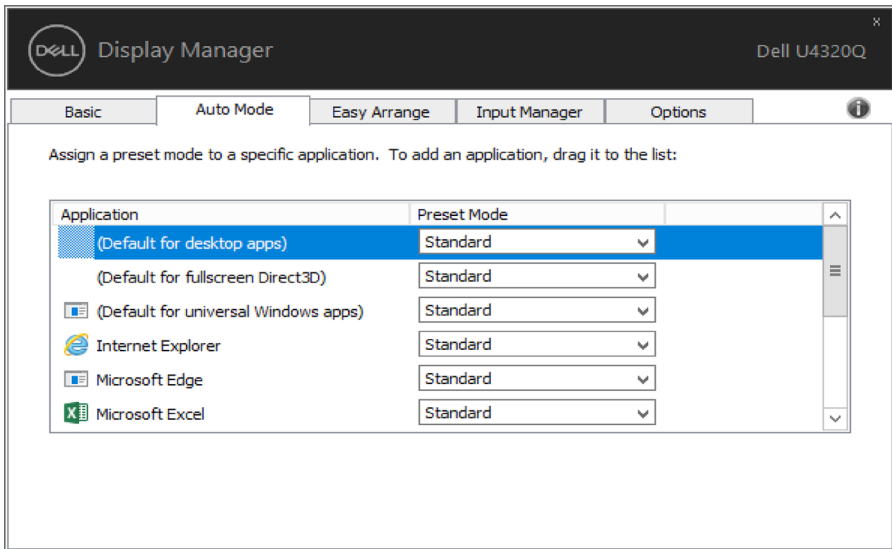


# プリセットモードをアプリケーションに割り当てる

[自動モード] タブからは、特定のプリセットモードを特定のアプリケーションに関連付けて、自動的に適用するように設定できます。自動モードを有効にすると、相当するアプリケーションがアクティベートされると、Dell Display Manager が自動的に相当するプリセットモードに切り替えます。各モニターで同じプリセットモードが特定のアプリケーションに割り当てられているかもしれませんが、プリセットモードが 1 台ずつ違うかもしれません。

Dell Display Manager は、多くの一般的なアプリケーション向けにあらかじめ構成されています。割り当てリストに新しくアプリケーションを追加するには、デスクトップ、Windows のスタートメニュー、その他の場所からアプリケーションをドラッグして、現在のリストにドロップします。

 注記: 一連のファイル、スクリプト、ローダー、あるいは Zip アーカイブやパケット化されたファイルなどの非実行ファイルへのプリセットモードの割り当ては、サポートされていないため、実行できません。

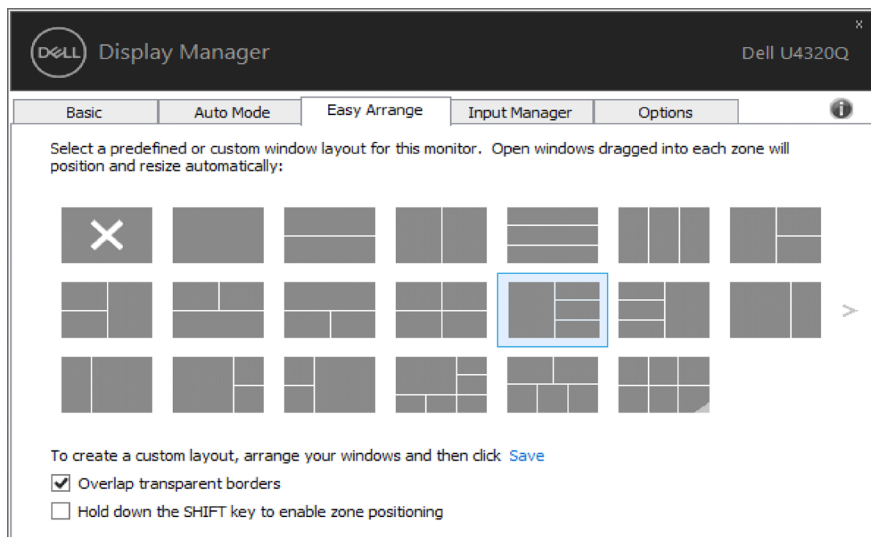





## Easy ArrangeでWindowsを整理する

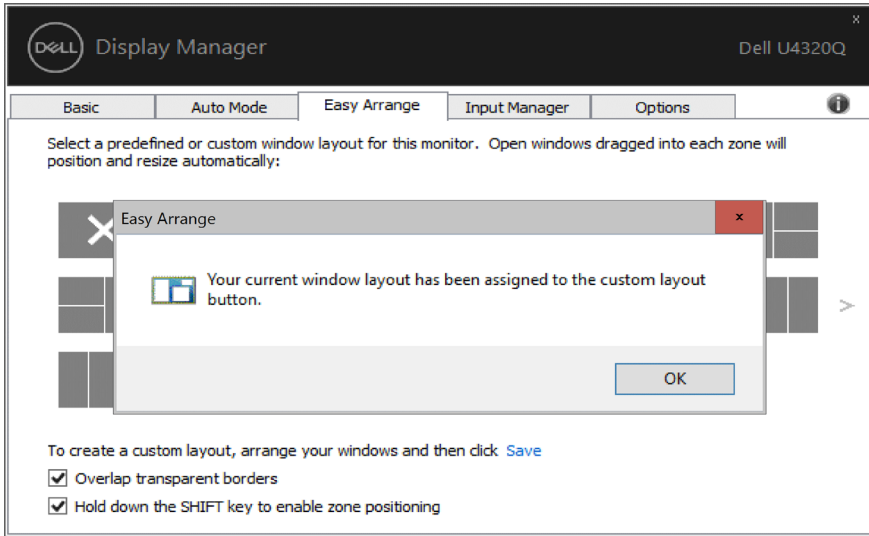
一部のDellモデルはEasy Arrange機能を備えています。これがあると、選択したモニタのデスクトップを整理して、ウィンドウレイアウトをいろいろな方法で事前定義したり、カスタム化したりできます。Easy Arrange機能を有効にすると、ウィンドウレイアウト内の特定の領域を自動的に埋めるように、ウィンドウの位置やサイズを簡単に変更できます。

Easy Arrangeを始めるには、ターゲットモニタを選択し、事前定義されたレイアウトの1つを選択します。そのレイアウトの領域がモニタに一時的に表示されます。次に、開いているウィンドウをモニタの全域でドラッグします。ウィンドウがドラッグされている間、現在のウィンドウレイアウトが表示され、ウィンドウが上を通過するとアクティブな領域が強調表示されます。いつでもウィンドウをアクティブ領域に落とし、その領域にウィンドウを配置できます。

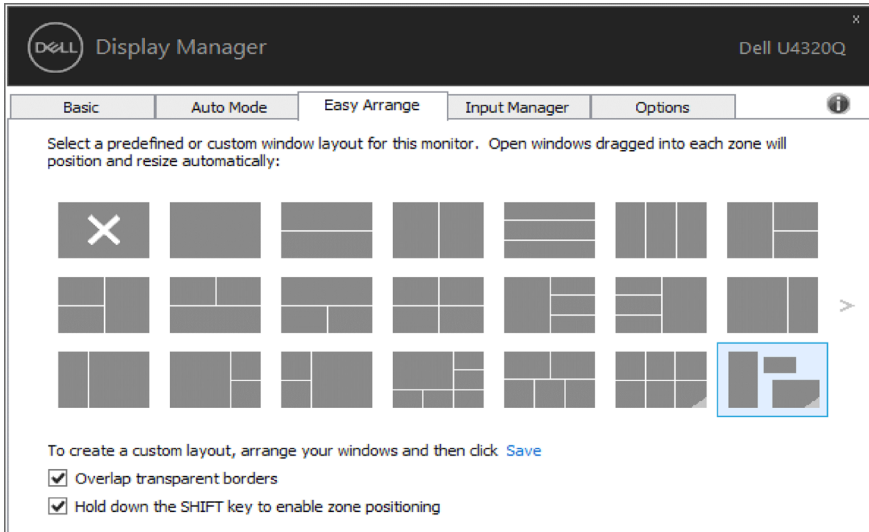


カスタムのウィンドウレイアウトを作成するには、デスクトップでウィンドウのサイズと位置を決め(最大10個)、Easy Arrangeの保存リンクをクリックします。ウィンドウのサイズと位置がカスタムレイアウトとして保存され、カスタムレイアウトアイコンが作成されます。

 注記: このオプションでは、開いているアプリケーションが保存または記憶されることがありません。ウィンドウのサイズと位置だけが保存されます。



現在保存されているカスタムレイアウトを使用するには、カスタムレイアウトアイコンを選択します。現在保存されているカスタムレイアウトを削除するには、デスクトップ上のすべてのウィンドウを閉じて、Easy Arrangeの保存リンクをクリックします。

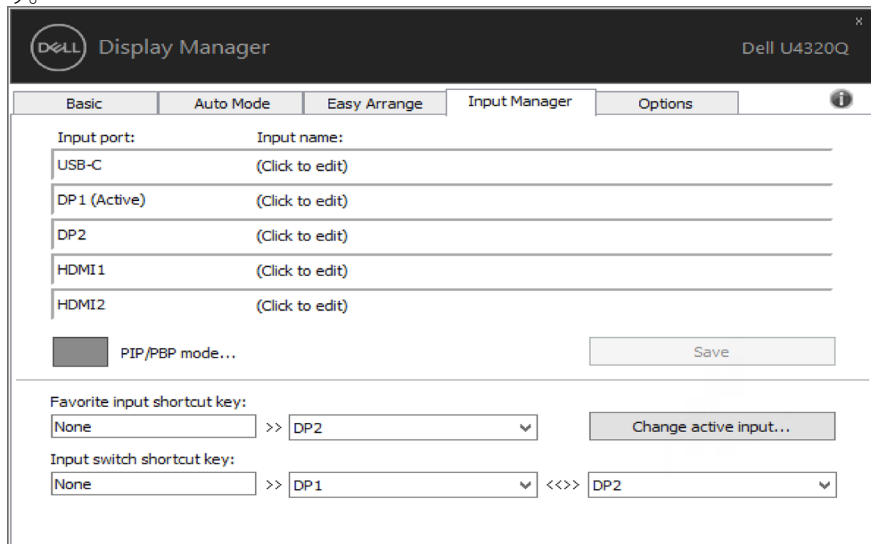


# 複数ビデオ入力の管理方法








Input Manager タブは、ご利用の Dell モニタに接続される複数のビデオ入力を管理する便利な方法を提供します。複数台のコンピュータを使用して作業する際、入力の間を非常に容易に切り替えることができます。

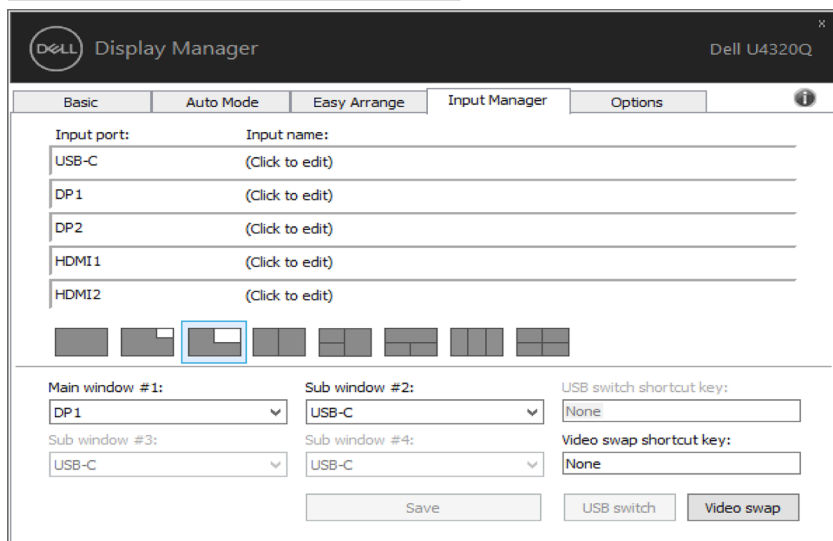
ご利用のモニタで利用可能なすべてのビデオ入力ポートが表示されます。各入力に希望する名称を付けることができます。編集後は、変更を保存してください。

お気に入りの入力に素早く切り替えるためのショートカットキーを定義したり、良く使用する 2 つの入力の間を素早く切り替えるための別のショートカットキーを定義したりすることができます。

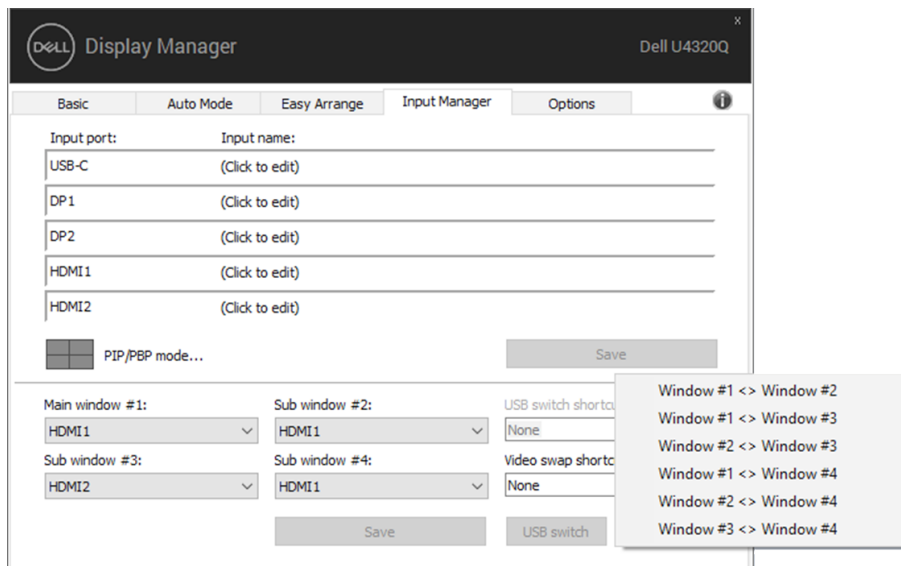


PIP/PBP モードを使用して、PIP サイズの小および大、PBP 2 ウィンドウ、PBP 3 ウィンドウモード 2、PBP 3 ウィンドウモード 3、PBP 3 ウィンドウモード 1、PBP 4 ウィンドウを調節できます。

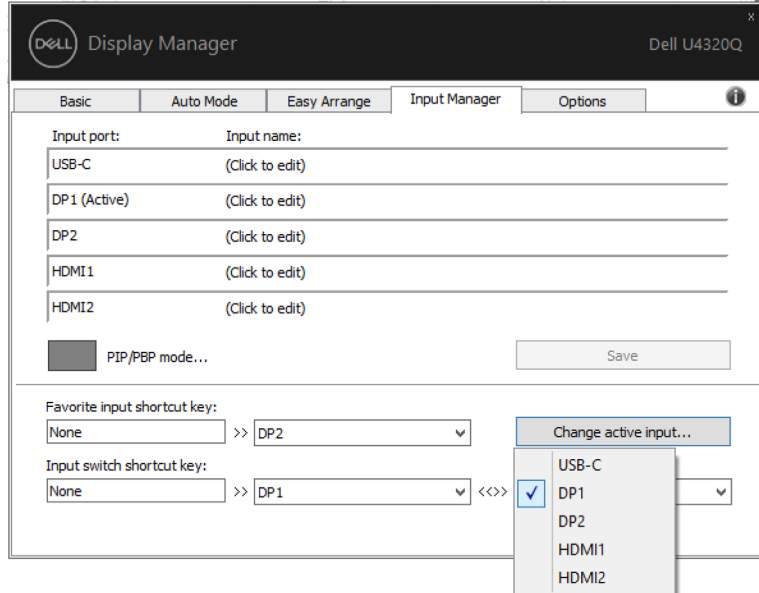
PIP		PIP 小サイズ
		PIP 大サイズ
PBP		PBP 2 ウィンドウ
		PBP 3 ウィンドウモード 3
		PBP 3 ウィンドウモード 2
		PBP 3 ウィンドウモード 1
		PBP 4 ウィンドウ



2つの入力でウィンドウの位置を入れ替える必要がある場合は、「ビデオ切り替え」ボタンを使用すると定義済みのペアのセットが表示され、すばやく選択できます。



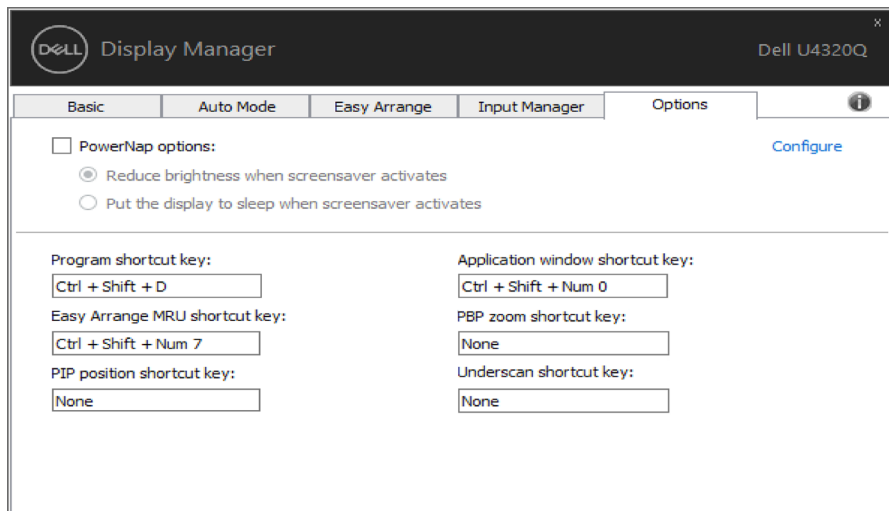
任意の入力ソースを切り替えるためにドロップダウンリストを使用できます。



**注:** DDM は、ご利用のモニタが別なコンピュータからのビデオを表示しているときでも、そのモニタと通信します。良く使用するコンピュータに DDM をインストールし、そこから入力切替を制御できます。また、モニタに接続される他のコンピュータに DDM をインストールできます。

# 省エネ機能を適用する

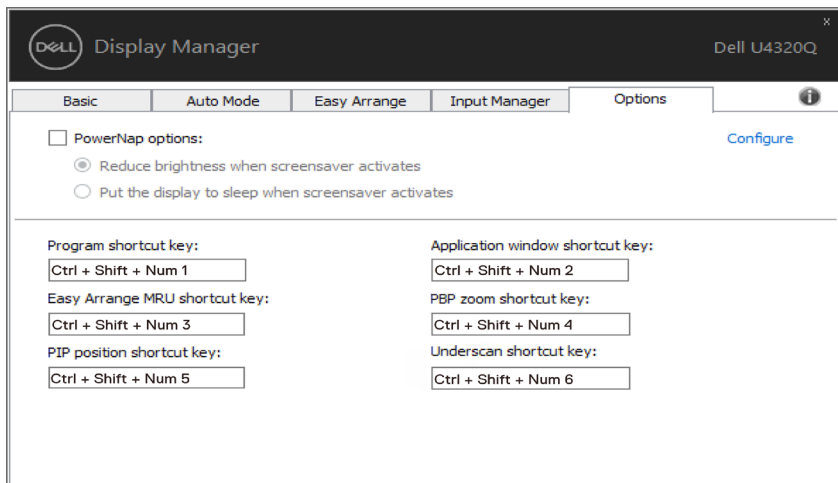
サポートされるDellモデルにはオプションタブがあり、そこにPowerNap省エネルギーオプションがあります。スクリーンセーバーを有効にすると、モニタの明るさを自動的に最小レベルに設定できます。または、付加的な電力を節約するために、モニタをスリープ状態にすることができます。



# その他のショートカットキー

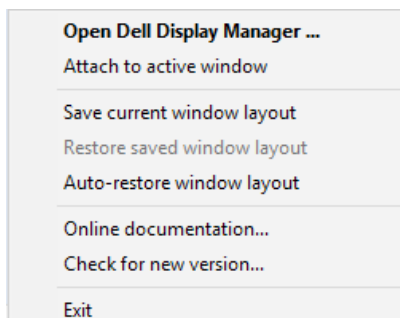
以下の操作に対するショートカットキーを定義できます。これらの操作を実行するためクイックアクセス用のショートカットキーを定義できます。

- **プログラムショートカットキー**:クイック設定ダイアログボックスを素早く開きます。
- **Easy Arrange MRUショートカットキー**:最近使用した5種類のウィンドウレイアウトを素早く適用します。
- **PIP位置ショートカットキー**:左上、右上、右下、または左下のウィンドウ位置のPIPサブ位置をすばやく適用します。
- **アプリケーションウィンドウショートカットキー**:プリセットモードと場所にあるオプションのクイックメニューを開きます。
- **PBPズームショートカットキー**:PBPズームをすばやく適用します (\* 4ウィンドウPBPの場合のみ適用可能)。
- **アンダースキャンショートカットキー**:パネルエッジ上で情報が欠落する問題をカバーするため、2%の縮小をすばやく適用します。

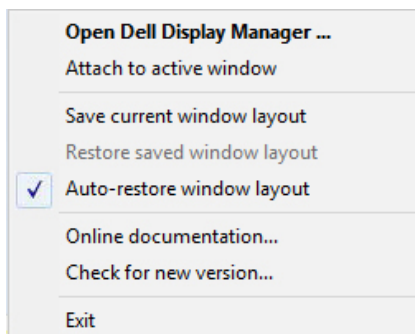


# アプリケーション位置の復元

DDM により、ご利用のコンピュータをモニタに再接続するとき、アプリケーション ウィンドウを所定の位置に復元できます。通知トレイの DDM アイコンを右クリックすることにより、この機能に素早くアクセスできます。

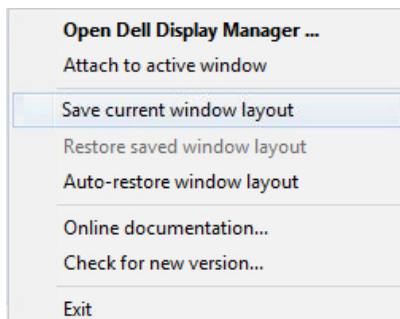


「Auto-restore window layout (ウィンドウレイアウトを自動復元)」を選択すると、アプリケーション ウィンドウの位置が、DDM により、追跡・記憶されます。DDM は、ご利用のコンピュータをモニタに再接続するとき、アプリケーション ウィンドウを元の位置に配置します。




アプリケーション ウィンドウを移動させた後、お気に入りのレイアウトに戻りたい場合は、まず、「Save current window layout (現在のウィンドウレイアウトを保存)」を選択し、後で、「Restore saved window layout (保存されたウィンドウレイアウトを復元)」を選択できます。





日常業務において、異なるモデルまたは解像度のモニタを使用し、頃なるウィンドウ レイアウトをそれらに適用できます。DDM は、再接続されるモニタを認識し、それに応じて、アプリケーション位置を復元できます。

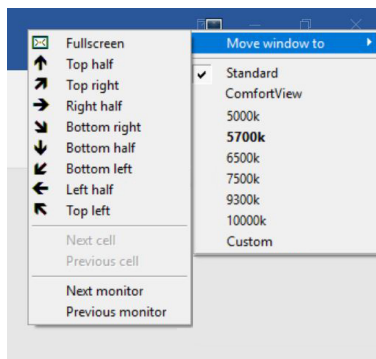
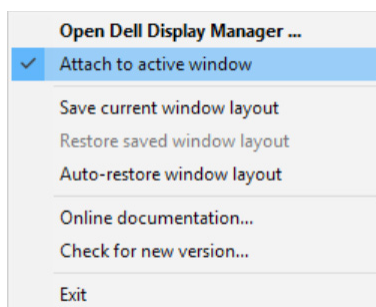
モニタ マトリクス構成において、モニタを交換する必要がある場合、交換前にウィンドウ レイアウトを保存し、新しいモニタを設置した後、レイアウトを復元できます。

 **注:**この機能を活用するために、ご利用のアプリケーションを動作させ続ける必要があります。DDM は、アプリケーションを起動しません。

# DDMをアクティブウィンドウに取り付ける (Window 10のみ)

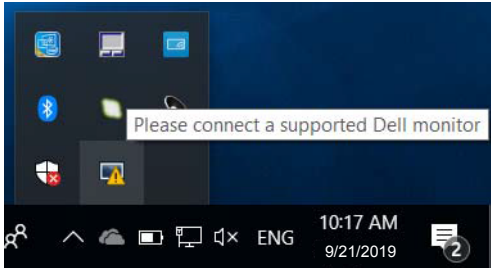
DDMアイコンを、作業中のアクティブなウィンドウに取り付けることができます。アイコンをクリックすると、以下の機能に簡単にアクセスできます。

機能	役割	説明
DDMをアクティブウィンドウに取り付ける (Window 10のみ)	プリセットの変更、または別のパーティションへの取り付け	<ul style="list-style-type: none"><li>DDMアイコンがアクティブなウィンドウに取り付けられ、ユーザーは簡単にウィンドウの位置を切り替えたり、色のプリセットモードを変更したり、自動プリセットモードを関連付けたりすることができます。</li></ul>
	ショートカットキーのトリガー	<ul style="list-style-type: none"><li>実行中のアプリウィンドウでCtrl+Shift+Insを押すことでも、取り付けられているDDMメニューがトリガーされます。</li></ul>
	Easy Arrangeセル間でアプリウィンドウを移動	<ul style="list-style-type: none"><li>アプリウィンドウを前/次のEasy Arrangeセルに送ります。</li></ul>
	アプリウィンドウをモニター間で移動	<ul style="list-style-type: none"><li>アプリウィンドウを前/次のモニターに送ります。</li></ul>

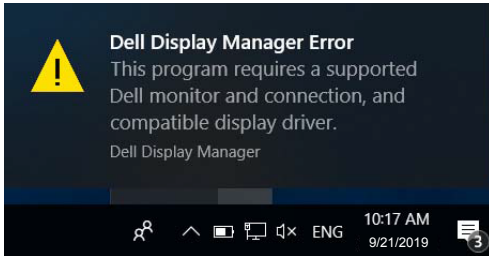


# トラブルシューティング

DDM が、ご利用のディスプレイと共に動作することができない場合、DDM は、通知トレイに以下のアイコンを表示します。



アイコンをクリックすると、DDM は、詳細なエラーメッセージを表示します。



DDM は、Dell ブランドのディスプレイと共にのみ動作することに注意してください。他のメーカーのディスプレイを使用されている場合、DDM は、それらをサポートしません。

DDM が、サポートされる Dell 製ディスプレイを検出および/または通信できない場合は、トラブルシューティングを行うため、以下のアクションを行ってください：

1. ビデオケーブルが、ご利用のディスプレイと PC に適切に接続されていることを確認します。特にコネクターが、しっかりと所定の位置に挿入されていることを確認してください。
2. ディスプレイの OSD をチェックし、DDC/CI が有効になっていることを確認します。
3. 必ず、グラフィックスベンダー (Intel、AMD、NVidia など) から、正しい最新のディスプレイドライバーを取得してください。多くの場合、ディスプレイドライバーが、DDM 故障の原因となります。
4. ディスプレイとグラフィックスポートの間のドッキングステーション、ケーブルエクステンダーまたはコンバーターを取り外します。一部の低価格のエクステンダー、ハブまたはコンバーターは、DDC/CI を適切にサポートしておらず、DDM の障害を引き起こす可能性があります。最新バージョンが利用可能である場合、このようなデバイスのドライバーを更新してください。

5. ご利用のシステムを再起動します。

DDM は、以下のディスプレイでは動作しない可能性があります：

- 2013 年以前の Dell 製ディスプレイおよび D シリーズの Dell 製ディスプレイ。更なる情報については、Dell 製品サポートウェブサイトを参照してください
- Nvidia ベースの G-sync 技術を使用するゲーム用ディスプレイ
- 仮想ディスプレイおよびワイヤレスディスプレイは、DDC/CI をサポートしません
- DP 1.2 ディスプレイの一部の初期モデルは、ディスプレイの OSD を使って、MST/DP 1.2 を無効化することは必要となる場合があります

ご利用の PC がインターネットに接続されている場合、DDM アプリケーションの最新バージョンが利用可能になった場合、その旨を示すメッセージがプロンプト表示されます。最新の DDM アプリケーションをダウンロードし、インストールすることを推奨します。

また、「SHIFT」キーを押しながら、DDM アイコンを右クリックすることにより、新しいバージョンを確認することができます。

